

土木計画学研究委員会 小委員会活動報告
(平成20年・計画学研究発表会秋大会)

小委員会名	自転車空間研究小委員会
小委員長	山中英生(徳島大学)
活動期間	平成20年春大会～平成23年春大会
委員会の活動趣旨	近年の環境問題を背景とした自転車の利用促進、増加傾向にある自転車関連事故、近年の道路交通法の改正など、自転車の利用空間への関心の高まりを契機として、新たな施策展開に向けた取り組みが進められている。しかしながら、自転車やその利用空間に関わる研究については、我が国では大きく遅れている現状にあり、これまで蓄積されてきた研究成果に加えて、空間設計や交通誘導のための基礎的な行動・拳動特性、多様な施策に対する利用者特性など、新たな施策展開に関連した科学的知見の体系化が急務となっている。そこで、こうした自転車空間に関する研究成果を共有し、知見を整理することで、実践的・実務的な成果につながる「自転車の利用空間のあり方」を工学的立場から提言することを目的として、研究小委員会を設立する。
組織概要 (分科会構成等)	平成19年秋大会に当研究小委員会の設置が認められ、その後平成20年1月に委員の公募を行った結果、大学、研究機関、NPO、コンサルタント分野から計32名の委員構成となっている。当面は委員会会合を通じて情報の共有をはかることを中心に活動を進める。具体的テーマ別の分科会等の活動開始は平成20年秋大会以降の予定である。委員会の基本的な役割は、関連する研究の科学的知見の体系化を諮るための各委員や国内外から収集された新たな施策などの関連情報を共有することにあることから、小委員会のホームページを開設し情報の蓄積・共有を支援する。
平成20年 計画学研究 発表会春大会 以降の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年春大会(6/6):企画セッション「自転車空間整備とその評価」、「自転車交通の特性と評価」、「自転車空間、自転車交通行動」、スペシャルセッション「自転車利用空間の目標像」の開催。 ・第3回委員会開催(6/7、場所:放送大学北海道学習センター6F中講義室、20名参加)企画・スペシャルセッションでの論点整理、今後の方向性について討議。 ・国際セミナー開催(7/11 場所:土木学会講堂、140名参加)講演タイトル:「自転車とまちづくりセミナー～オランダと米国から 市民による自転車まちづくり～」講演者:パスカル・バンデン・ノールト氏(自転車奨励協会)/スティーブ・ジョンソン氏(ポートランド州立大学)主催:土木計画学研究委員会/日本都市計画家協会/自転車活用推進研究会、後援:国土技術政策総合研究所/日本サイクルラック協会/計画・交通研究会
今後の活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年秋大会:第4回委員会の開催確定(11/1 16:45-18:45) ・平成21年3月:ワンディセミナー開催予定(場所、日時調整中)、タイトル案「自転車から中速グリーンモードへ 利用空間整備の方向とその評価」新道路技術会議との研究会共催予定 ・平成21年春大会:企画セッションの開催立案
小委員会 HP	http://www.ipte.civil.eng.osaka-cu.ac.jp/cs/ (開設済)
その他・特記事項	特になし